

# 週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

## 2025 年度年間聖句

「良い土地に蒔かれたものとは、  
御言葉を聞いて悟る人」  
(マタイによる福音書 13 章 23 節)



### どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半  
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時 ~10 時  
祈 禱 会 各水曜日  
○昼の聖書研究祈禱会  
(第3・午後2時)  
●夕の祈禱会  
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

協力牧師 堂 本 陽 子

協力牧師 井 東 焔

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65

TEL. 042-742-1593

FAX. 042-742-1393

ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>

郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計

00290-4-80707

# 3203 2026 年 3 月 29 日

## 礼拝式順序

(受難節第 6 主日・「棕櫚の主日」)

司式者 井 殿 準

奏楽者 伊 東 永 子

前 奏		奏 楽 者
招 詞	ゼカリヤ 9 : 9	司 式 者
讃 美 歌	3 0 9 「あがないの主に」	一 同
聖 書	マタイ 27 : 57 ~ 61 (新 P. 58)	司 式 者
使徒信条	(93-4-A)	一 同
祈 禱		司 式 者
讃 美 歌	3 1 1 「血しおしたたる」(1~4節)	一 同
説 教	「今度はわたしの番」	司 式 者
祈 禱		”
讃 美 歌	5 1 5 「きみのたまものと」	一 同
各任職式		司式・井殿牧師
讃 美 歌	5 1 0 「主よ、終わりまで」	一 同
献 金		”
主の祈り	(93-5-A)	”
頌 栄	2 9 「天のみ民も」	”
祝 禱		司 式 者
答 唱	4 0 - 6 「アーメン」	一 同
	~ 「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう~	
報 告		司 式 者
讃 美 歌	9 1 「神の恵みゆたかに受け」	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。

先週の説教要旨

「愛する人となるために」

(マルコ 10 : 32 ~ 45)

主イエスがいよいよ十字架の待ち受けるエルサレムへと進み行く途上、最初に弟子とされた 4 人の中のヤコブとヨハネの兄弟は、主イエスに「栄光をお受けになるとき、わたしどもの一人をあなたの右に、もう一人を左に座らせてください」と願い出た (37 節)。おそらく二人は、10 章 29 節の主の言葉を聞いて、「今この世で」の報いを期待したのであるが、これに対して、主イエスは「わたしが飲む杯を飲み、このわたしが受ける洗礼を受けることができるか」と二人にお問いになる。「わたしが飲む杯」とは、あのゲツセマネの園での祈りに出て来る「苦い杯」、すなわち十字架への道行きを意味するが (14 : 36)、ヤコブとヨハネの二人は、「できます」と即答する (39 節)。

二人は、「将来自分たちが受ける素晴らしい報いを思えば、多少の苦しみなど何でもない」とでも考えたのかも知れないが、この二人も、他の弟子たちと同様、主イエスが捕らわれた時には蜘蛛の子を散らすように逃げ出し、主と共に十字架に上ることはできなかった。誰も主イエスが飲んだ「苦しみの杯」を飲むことはできなかったのだ。しかし、後に、ヤコブとヨハネをはじめとした弟子たちは、その杯を喜んで飲んで行った。苦い杯を飲むこと以上に素晴らしいものを彼らが受けたからだ。

主イエスが飲んだ苦い杯は、「神の怒り」の注がれた杯とも言える (エレミヤ 25 : 15)。主イエスは、神に背き、神を悲しませる罪深い我々人間の上にくだされるべき「神の怒り」を、我々の身替わりとなって飲み干してくださり、それによって、我々は今や、罪の赦しと新しい命を受ける者とされている。弟子たちは、そのことを悟った時、喜んで、自ら進んで「皆に仕える者」「すべての人の僕」として生きる者、「愛する人」となって行った。

この弟子たちにならい、我々も、残るレントの日々、主が十字架の上で神の怒りという苦い杯を飲み干して下さった恵みの尊さを何度でも思い起こしながら、いよいよ皆に仕える者、愛する人として歩んで行こう。